

2022年12月7日

各位

三井住友信託銀行株式会社

横須賀市「海洋都市推進に向けた共創事業」への寄附について
～先進技術の社会実装による地域課題解決・脱炭素社会への貢献～

三井住友信託銀行株式会社(取締役社長:大山 一也、以下「当社」)は、先進技術の社会実装による社会課題解決・脱炭素社会への貢献を目的として、横須賀市(市長:上地克明)の「横須賀市まち・ひと・しごと創生推進事業」に対して、地方創生応援税制(企業版ふるさと納税)による3,000万円の寄附(以下「本寄附」)を実施しました。本寄附は横須賀市が進める「海洋都市推進に向けた共創事業」(以下「本事業」)に活用される予定です。

横須賀市は、目指すまちづくりの方向性の一つとして「海洋都市」を掲げています。本事業を呼び水に、ブルーカーボンをはじめとしたブルーテック(※1)を中心に、市内外の関連企業や研究機関等の連携を加速するとともに、新たな企業の参画や民間投資を呼び込む新しい地域経済活性化の仕組み構築を企図しています。

当社は、こうしたブルーテックを中心とした事業創造、人・資金の好循環創出を企図する横須賀市の取り組みに賛同し、本寄附の実施を決定しました。「産学官金」の連携によるオープンイノベーションの推進を通じた地域課題解決型のプロジェクトの組成、実装化を目指す横須賀市の取組をサポートしていきます。

三井住友トラスト・グループは、2030年に実現したい社会や当社の姿を見据え、好循環を促進する重点戦略領域の一つとして『地域経済エコシステムの構築』を掲げています。当社はさまざまなソリューションを提供することで、地域資源が有するさまざまな社会的価値・経済的価値の最大化をサポートしていきます。

【本寄附イメージ図】



【本事業推進における寄附金の使い道】

<p>1. 横須賀発 国産水中無人機の研究開発</p>	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 海洋分野全般における技術・知見を持つ、市内の企業・研究機関などを集めた「ヨコスカ・ブルーテックコンソーシアム」を形成 ➤ 市内企業などを対象とした技術公募を行い、コンソーシアムとのオープンイノベーションによる横須賀発の国産水中無人機の研究開発を実施
<p>2. ドローンを活用した水産業の高度化支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 水中ドローンを活用した海洋調査 ➤ 漁業と連携した磯焼け対策(ブルーカーボンの促進) ➤ 水中・空中ドローンを活用した水産業の高収益化 ➤ 水産事業者への水中・空中ドローンに対するニーズ調査、および利活用促進、導入支援
<p>3. 海洋分野の人材育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 横須賀市内にある“神奈川県立海洋科学高校”におけるブルーテックに関連した授業支援 ➤ 海洋科学高校で実施した授業のフィードバックを元に、汎用的な教育プログラムを作成 ➤ コンソーシアム会員企業等による、子供たちへの海のしごと紹介
<p>4. 市内事業者へのドローン利活用促進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 市内事業者向けの水中ドローンデモ体験会の実施 ➤ シンポジウムを開催し海洋技術の最先端情報を発信 ➤ 上記を通じた事業者間の交流、マッチング支援

(※1) ブルーテック

本事業では、海洋分野の発展に資する技術・知見全般をブルーテックとして定義。水中無人機の開発に係る技術、海洋建設全般や保守・点検も含めた技術、海洋環境の調査研究およびそれらに関連する通信分野や、各種センサ、測定器、水密素材等の開発といった海洋分野を支える基礎的な技術を包括して想定。

以上